検証委員会の今後の進め方について（案）

2018年10月23日

電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators,JAPAN
OCCTO

検証委員会をめぐる現状

- 平成30年北海道胆振東部地震など直近の災害による、国民生活や経済活動への影響にかんがみ、電力等の生活を支える重要インフラがあらゆる災害に対し、その機能を維持できるよう、全国で緊急に総点検を行い、11月末を目途に政府の対応方策を取りまとめることを、９月21日の「重要インフラの緊急点検に関する関係閣僚会議」において決定。

- 当該決定や検証委員会の検証状況を踏まえ、経済産業省において、電力インフラの総点検結果を確認・審議し、レジリエンスの高い電力インフラ・システムを構築するための課題や対策を検討するため、「電力レジリエンスＷＧ」が設置され、11月中旬にも取りまとめを行い、上記政府の対応方策にも報告・反映されていく予定。

- 同ＷＧでは、対策を、取りまとめ後に即座に実行に移す「緊急対策」と、制度改革を含め、取りまとめ後に即座に検討に着手する「中期対策」に分け、検討される予定。

- 検証委員会の中間報告が取りまとまり次第、同ＷＧにおいて、中間報告も踏まえた検討を行うため、その内容の報告が求められている状況。

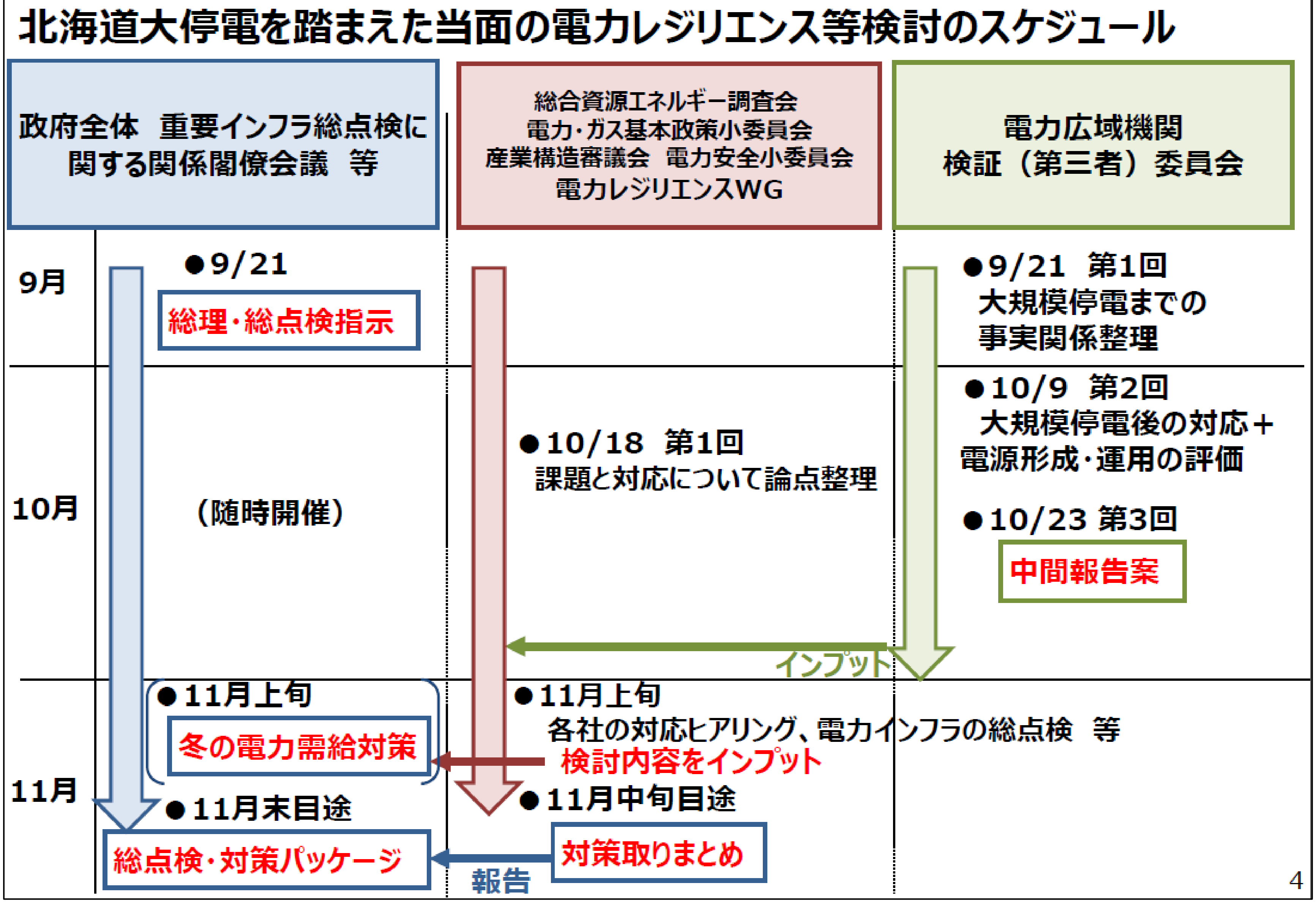
- 加えて、検証委員会の最終報告は、例えば、電力レジリエンスＷＧ取りまとめ後に着手される「中期対策」（制度改革を含む）の具体的な検討の中で活用されることが考えられる状況。

検証委員会の今後の進め方について（案）

- 当面（今冬）の早期対策や中長期的な対策を提言する中間報告を10月中目途に取りまとめ後、早ければ本年中（2018年中）を目途に最終報告の取りまとめができるよう、2019年２月～３月の石狩湾新港発電所や新北本連系設備の運開後に北海道エリアの周波数制御体系が大きく変化する状況下で必要な対策の有効性について、シミュレーションにより集中的に検証を行っていくこととしてはどうか。

（参考）北海道大規模停電を踏まえた当面の電力レジリエンス等検討のスケジュール 4

総合資源エネルギー調査会電力・ガス基本政策小委員会
産業構造審議会電力安全小委員会
第１回電力レジリエンスＷＧ（2018年10月18日）資料5 P4 抜粋



（参考）電力レジリエンスＷＧで議論される論点（例）

総合資源エネルギー調査会電力・ガス基本政策小委員会
産業構造審議会電力安全小委員会
第１回電力レジリエンスＷＧ（2018年10月18日）資料7　P1　抜粋

本WGで御議論いただきたい論点（例）

- 「全国で緊急に点検を行い、11月末を目途に政府の対応方策を取りまとめる」という「重要インフラの緊急点検に関する関係閣僚会議」における決定も踏まえ、本WGにおいては、**まずは電力インフラについての総点検結果について確認・審議を行い、その上で、今後実施すべき対策について御議論いただく**という段取りでどうか。
- 対策については、今後新たに発生し得る災害等についても効果を発揮するよう迅速性も必要とされることから、**取りまとめ後に即座に実行に移す「緊急対策」と、制度改革を含め、取りまとめ後に即座に検討に着手する「中期対策」で構成**してはどうか。

論点（例）

＜電力インフラの総点検＞

- 現行の基準に照らし、昨今の災害における状況も踏まえた上で、ネットワーク全体及び火力発電所等の個別設備の電力インフラのレジリエンスは十分確保されているか

＜緊急対策＞

- 大規模停電のリスク・被害を最小化するため、電力インフラの運用はどうあるべきか
- 災害等が発生した場合の危機対応はどうあるべきか（電力事業者の連携の在り方、情報提供・発信の在り方など）

＜中期対策＞

- 電力インフラのレジリエンスを高め、災害に強い供給体制を構築するために取るべき具体的な対応はあるか、電力事業に係る現状の制度等を含めて見直す点はないか

（参考）第２回以降の電力レジリエンスＷＧの進め方について

総合資源エネルギー調査会電力・ガス基本政策小委員会
産業構造審議会電力安全小委員会
第１回電力レジリエンスＷＧ（2018年10月18日）資料7　P2　抜粋

次回以降のWGの進め方について

- 次回WGにおいては、まずは**下記について電力事業者等から報告**を受けることとしてはどうか。
  - ✓ **電力インフラのレジリエンス総点検結果**（ネットワーク全体及び火力発電所等の個別の電気設備）
  - ✓ **災害等が発生した場合の危機対応の在り方**（電力事業者の連携の在り方含む）
- その上で、**レジリエンス総点検結果について確認・審議いただくとともに、「緊急対策」として取り組むべき対策について御議論**いただいてはどうか。
- 電力広域的運営推進機関における**検証委員会の中間報告が取りまとまり次第、本WGでもその内容について報告**を受けることとしてはどうか。
- 電力インフラのレジリエンス総点検については、**検証委員会における議論・中間報告の内容を踏まえた検討も必要**であるが、**例えば下記の考え方に基づき点検を行ってはどうか**。
  - ✓ **ネットワーク全体**：**広域エリア単位**（北海道、東日本エリア、西日本エリア）で、**N-1/N-2ルールを基本としつつ、地震等の災害が発生しやすい等の我が国の特殊性を踏まえたリスクを加味**（例えば大型サイト脱落等を想定）し、最大限**ブラックアウトを防ぐことを可能とするために必要な調整力等を保持しているか**について確認
  - ✓ **火力発電所等**：全国の火力発電所について、**耐震設計規程（JEAC）に準拠した設計になっているか**等について確認。送配電設備・変電設備についても一連の災害で被害を受けたものを中心に現場確認等を実施。
- **中期対策については、本日の議論も踏まえ事務局で対策案を策定し、次々回以降に議論**を行ってはどうか。

2